

みずしるべ

しるべ情報



新丸山ダムのキャラクター
しんまるくん

発行
建設省中部地方建設局
新丸山ダム工事事務所

15
INFORMATION

建設省新丸山ダム工事事務所は地域の皆様や
関連する方々との情報ネットワークとして、情
報誌「みずしるべ」を発行しております。
今号は、平成7年度事業のあらましをテーマ
にしました。今後も内容をますます充実させて
いきたいと思っております。ご意見・感想がござ
いましたら、ぜひお寄せ下さい。



カブトムシ
6～7月ごろ、カブトムシの幼虫は
地面の下に卵型のへやをつくって、
その中で、さなぎになります。さな
ぎから成虫になるのは、7～8月ご
ろ。新丸山ダム周辺の森林でも、夜
になると、木の樹液をすいに、たく
さんの昆虫たちがやってきます。

新丸山ダム概要
新丸山ダム建設事業は、木曾
川本川が濃尾平野に流れ出る手
前の峡谷に設置されている丸山
ダムを大規模に嵩上げて、洪
水調節能力を大きく向上させよ
うというものです。
我が国あるいは世界で大きな
役割をになっている中部圏を支
え、更に発展させてゆくための
基盤施設として、木曾川の新た
なカナメとして生まれかわる新
丸山ダムは、極めて大きな役割
を果たすこととなります。



●保古の湖
海拔850mにある保古の湖は、
周囲5kmの人工湖。
ボートで釣りも
楽しめるよ。

恵那山のすぐ西に広がる「胞
山県立自然公園」の一角に恵那
山高原国民休養地「根の
上高原」があります。
澄んだ湖面が美しい
保古の湖と、保古
山・笠置山が一望
できる大自然の
中、アウトドア
スポーツが満喫
できるリゾート
地として今、注
目されています。
保古の湖沿いの
サイクリングロー
ドや大自然をその
まま活かしたオート
キャンプ場、また、湖畔
の宿泊施設には、テニスコート



交通
JR恵那駅からバス30分。『保古の湖』または『根の上高原』下車。
●マイカー中央自動車道恵那I.C.から30分・14km。

●資料提供・お問い合わせ先
恵那市役所(0573)26・2111

このほかに
も、新丸山ダ
ム周辺には、
アウトドアス
ポーツを楽し
めるフィールドがいっぱい。
さあみんなも、大自然の中、
輝く太陽の下で、おもいつき
り体を動かし、夏の暑さを吹
き飛ばそう！

夏休み中のイベントを紹介
しましょう。
その名も「少年トライアス
ロン凸凹ラリー」。オリエン
テーリング、サイクリング、
ボートの3種目で競い合う本
格的な内容で、8月20日に行
われます。真剣な表情でラリ
ーに挑戦する子供たち、黄色
い歓声で見守
るお母さんた
ちのほほえま
しい姿も見物
(?)です。

▼キャンプ場
広さ2haの自然林を活かしたキャンプ場。大自然
の真只中、夏でも風はさわやかそのもの。



県内唯一の国民休養地
根の上高原
岐阜県恵那市・中津川市

楽しく、ためになる
しんまるくんの教室。

教えて
しんまるくん

楽しい夏休みも、もうすぐ！
今回は、大自然をひとりじ
め。満足度120%のスポーツ
フィールドを教えちゃう。

瑞浪市	8月5～7日 美濃源氏七塔まつり【瑞浪駅前周辺】
	8月13日 陶町陶祖祭【陶町・桜ヶ丘公園】
	8月14日 竜吟の滝まつり【釜戸町・竜吟の滝】
	8月26日 相生座納涼大歌舞伎【日吉ハイランド】
	10月8日 鶴城笹おどり【土岐町・諏訪神社】
	酒波神社礼祭【日吉町・酒波神社】
	宿・宿洞獅子舞【日吉町】
	10月14・15日 産業フェスティバル【市道竜門線】
恵那市	●お問い合わせ 瑞浪市役所(0572)68・2111
	8月6日 浅間七福万歳
	8月中旬 グリーンピア恵那夏祭り【中野方町向山】
	10月1日 剣の舞い・笠踊り【毛呂窪・蘇原神社】
	10月7・8日 恵那ふるさと祭り
	「95のじのみのり祭」【中央通り周辺】
	10月10日 大井長島獅子舞【大井長島・金比羅神社】
	重箱獅子【野井・武並神社】
	10月14日 地球環境まつり95【恵那文化センター】
	10月27・29日 市民祭美術展【恵那文化センター】
	10月29日 市民祭ステージ発表【恵那文化センター】
	●お問い合わせ 恵那市役所(0573)26・2111
八百津町	8月5日 星空サミット【人道の丘公園】
	8月6日 蘇水峡川まつり【八百津橋周辺】
	8月6日 町合併40周年記念式典
	【ファミリースタジアム】
	8月19・20日 八百津町子供会キャンプ研修
	【蘇水峡キャンプ場】
御嵩町	●お問い合わせ 八百津町役場(0574)43・2111
	8月5・6日 真夏の夜の花祭り'95【向陽中学校】
	10月14・15日 みたけ40フェスタ【みたけの森】
	10月22日 御嵩町音楽祭【中公民館】
	●お問い合わせ 御嵩町役場(0574)67・2111

建設省中部地方建設局
新丸山ダム工事事務所
〒505-03
岐阜県加茂郡八百津町八百津3351



もしもしテレフォン
新丸山ダムについてどんな事でも
お気軽にお問い合わせ下さい。
0574-43-2780(代)

“ダム建設は、どこまですすんでいるの？”
 “これからどんな工事が必要なの？”
 新丸山ダムのいろいろな最新情報を紹介します。

一日も早い
 完成をめざして
 今年度も
 ガンバります！

平成7年度事業のあらまし

平成7年度は昨年度に引き続き、湛水用地や付替工事の用地取得を継続して行います。また、町道新大峯線の継続工事を行うとともに、ダム本体や工専用道路などに係わる調査設計を進めてまいります。一日も早い完成に向けて事業を推進いたしますので、みなさんのご理解とご協力をお願いします。



【平成7年6月28日】



1 事業費について

平成7年度の
 事業費は
25億円
 です



2 工事について

さらに地域整備を進めます

前年度に引き続き、工専用迂回路 町道新大峯線の改良工事を行います。また、新大峯線支線については、6月28日に供用開始しました。ダム本体の着手に向け着実に工専用道路の整備を進めています。また、これらの道路整備により、地域の発展にも寄与します。



▼町道新大峯線口杣沢地区【平成7年6月】



▼人道の丘公園と小峯代替地の中を走る町道新大峯線【平成7年4月】

町道新大峯線支線 開通

町道新大峯線支線は、平成6年度より道路工事を進めてきましたが、延長L=350mが完成(一部区間を除く)し、平成7年6月28日に開通式を迎えることができました。この道路は、現在工事が進められている町道新大峯線の迂回路として施工されるもので、町道として、八百津町との合併工事として施工されました。



しんまる トピックス



新丸山ダム 健康ウォーク

場所:丸山ダム周辺

8/5

青空の下で元気に歩こうよ!

丸山ダム周辺で“新丸山ダム健康ウォーク”を開催。健康ウォークは『人道の丘公園』をスタートして「丸山ダム展望台」「新大峯線支線と一般国道418号八百津バイパス交差点」の2ヶ所のチェックポイントを通過して、ふたたび「人道の丘公園」をめざします。新しく完成した新大峯線支線や眼下にひろがる丸山ダムを見ながら元気に歩き、夏の暑さを吹き飛ばしましょう。また、歩いた後には楽しいゲームを用意しています。なお、当日は八百津町合併40周年記念行事のひとつとして“星空サミット'95インやおつ”が引き続き開催されます。



●スタートとゴール地点になる「人道の丘公園」

スケジュール

- 13:00 集合
- 13:30 スタート/人道の丘公園
- 15:00 ゴール/人道の丘公園
- 15:00~16:00 ゲームなど
- 17:00~ 星空サミット



蘇水峡川まつり

場所:八百津町役場前

8/6

暑さを吹き飛ばす暑いイベント

花火大会や盆踊り、商店街の各種イベントなどが行われる“八百津町蘇水峡川まつり”に、地域の方々との交流を深めるため、新丸山ダム工事事務所も参加します。新丸山ダム事業のPRをはじめいろいろなイベントを用意して、みなさんの参加をお待ちしています!



一日も早い
完成をめざして
今年度も
ンバります!

2 工事について

さらに地域整備を進めます

前年度に引き続き、工所用迂回路 町道新大峯線の改良工事を行います。また、新大峯線支線については、6月28日に供用開始しました。ダム本体の着手に向け着実に工所用道路の整備を進めています。また、これらの道路整備により、地域の発展にも寄与します。

▼町道新大峯線口杣沢地区【平成7年6月】



▼人道の丘公園と小峯代替地の中を走る町道新大峯線【平成7年4月】



町道新大峯線支線 開通

町道新大峯線支線は、平成6年度より道路工事を進めてきましたが、延長L=350mが完成(一部区間を除く)し、平成7年6月28日に開通式を迎えることができました。この道路は、現在工事が進められている町道新大峯線の迂回路として施工されるもので、町道として、八百津町との合併工事として施工されました。



3 用地について

地域の方々のご協力を 得て用地の確保を 行います



湛水用地や付替道路用地を取得するため、関係の土地や建物の所有者の方一人一人に補償内容を説明し、ご理解を得て契約を取り交わしていきます。また、工所用迂回路や工所用道路(資材運搬線・原石山線)土捨場については、町のご協力を得て順次用地確保に努めていきます。

■小峯代替地の集団調印を行いました

去る5月23日、八百津町口杣沢公民館において、小峯代替地へ移転する13名の方と集団調印を行いました。平成4年3月に補償基準を妥結調印させて頂いて以来、各方面の方々の深いご理解とご協力のお陰です。

今後とも、地域の方々のご協力を得て、用地の確保に努めてまいりたいと思います。



4 調査設計について

より綿密に、そして慎重に 調査設計を行います

ダムサイト周辺の地質調査、ダム本体や仮設備などの設計を検討するとともに、環境調査を継続して行います。また、工所用道路などの測量・設計などを実施します。

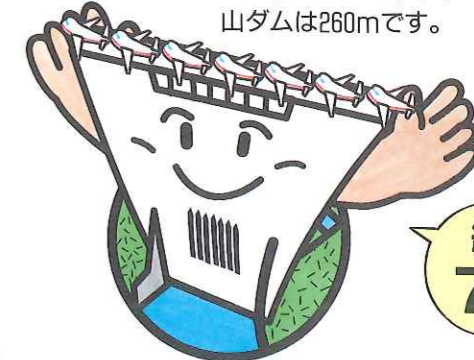


▲測量調査の風景

しんまる Q&A

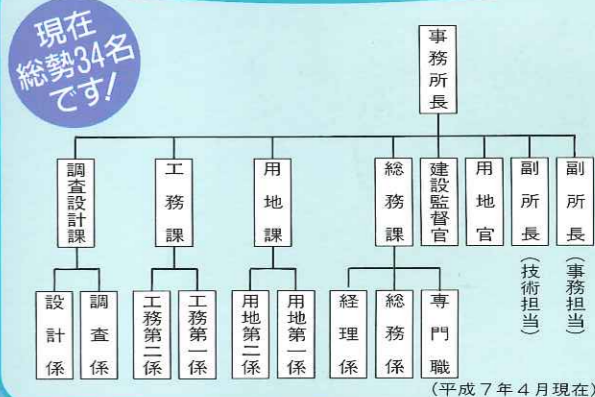
Q 新丸山ダムはどれぐらいの幅になるのですか?

A 新丸山ダムの堤頂の長さは、382mになります。この長さは、ジャンボジェット機の長さの約7機分に相当します。ちなみに、現在の丸山ダム山ダムは260mです。



約
7機

新丸山ダム工事事務所組織図



しんまる レポート

花フェスタ'95ぎふ 閉幕
建設省
「花と水のワンダーランド」

建設省中部地方建設局が出展したコーナー「花と水のワンダーランド」には、様々な反響がありました。このコーナーには女性を中心に、合計約23万7千人が訪れました。展示やゲームなどに熱中する子供たちなどで大にぎわい。真剣に見学し、展示の内容について質問をする方々の姿も見られました。今回このコーナーを担当したコンパニオンのお二人からは「この仕事を通じて、道路工事など注意して見るようになった。もっと建設省を知らせる若者向けのPRをしたらよいと思う」という感想をよせて頂きました。



▲今回のインタビューに
応えてくれた、
コンパニオンの張本
さん(左)と若山さん(右)

とゴール地点に
道の丘公園」

の丘公園
公園

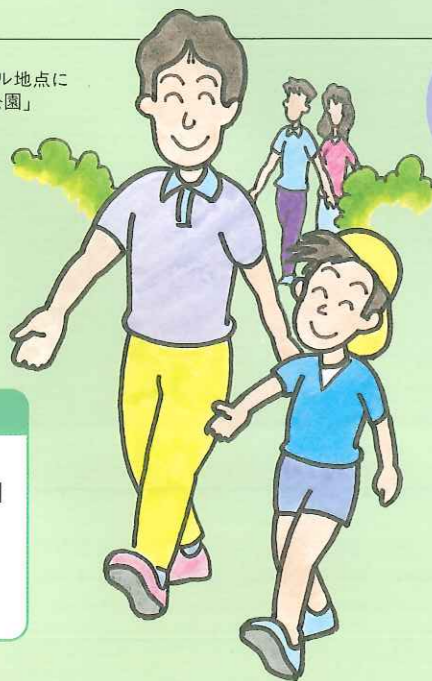
蘇水峡川まつり

8/6

場所:八百津町役場前

暑さを吹き飛ばす暑いイベント

花火大会や盆踊り、商店街の各種イベントなどが行われる「八百津町蘇水峡川まつり」に、地域の方々との交流を深めるため、新丸山ダム工事事務所も参加します。新丸山ダム事業のPRをはじめいろいろなイベントを用意して、みなさんの参加をお待ちしています!



ふれあい すぺ〜す

川と生きた錦織綱場の筏乗り

伝えたい この地に息づく 筏師の意気と暮らし

筏乗りの仕事は、とにかく忙しい。午前4時ごろ出発。犬山まで約22kmを流送した

途中で「カジを取られて岩に筏をぶつけ、大切な木材を流してしまったこともあった」そうです。「月夜や晴れの日は川筋が見えたけど、曇りや雨の日は川の白波などを頼りにカジをとっていたよ」と、当時の苦労をなつかしそうに語ってくれました。



●流れの穏やかな現在の綱場跡



●33枚にも及ぶ色紙には、筏流しの様子が克明に描かれ、裏にはその説明文も添えられています

人々の生活の歴史が刻みこまれている木曾川。鎌倉時代から大正時代まで木曾運材の拠点として栄え、川とともに生き、川と人と材木の結びつきが深かった錦織綱場の筏乗りの話を特集します。



●八百津町錦織にお住まいの元筏乗り、各務正美さん

●御用材旗
この旗を竹ざおにさして、筏の上を立て、検問所(現在の美濃加茂市)を通過するとき、「御用材」であることを証明しました。

どから、全国的にも有名だったといわれる錦織綱場の位置は、現在の丸山ダムの下流、ちようと郷土館の対岸の辺り。その綱場で筏乗りの仕事をなさっていた各務さんは、八百津町錦織に住む明治29年生まれ99歳。今では最後の筏師です。祖父や父の跡を継ぎ、20歳から綱場が廃止になる大正12年まで筏に乗っていたそうです。

木曾川本流や大滝川、付知川などの支流沿いの森で、春から夏にかけて切り倒された巨木は、冬に近づくころ、一斉に錦織綱場に流送されました。それから各務さんの出番。水量の少なくなる秋の彼岸から春の彼岸まで、多いときは百そう以上もの筏が出たそうです。



●錦織綱場の跡に設置してある、案内板

木材を受け渡しても、まだまだ一息つけません。帰りはカジをかつぎ、中山道をたどって家路を急ぎます。カジは長さ4m50cm、重さ約19kg。さらに、筏を補強するために使った約15kgのツルを持って帰らなければなら

りません。「道が狭いから、カジが長くて後ろから来る人が困っていたな」と、自分の持ち物の重さなど気にも止めず、他人のことを心配するのは筏乗りの心意気!? こうした水運には二百人以上の人が携わっていました。

しかし、大正期にはいと、国鉄中央線が開通したこともあり、筏流しは役目を終え、大正12年には長い歴史に終止符をうつことになりました。現在、八百津町には木曾運材にまつわる数多くの資料や民具が伝えられています。中でも、郷土館には様々な興味深い資料が大切に保管されています。各務さん自身も当時のありさまを後世に残そうと、筏流しの水彩画を描き続けています。ときには激流に突き進み、ときには川に助けられた筏師の意気と暮らしが、この地には息づいています。

●資料提供／八百津町教育委員会